

2001.10.11

現代日本論演習 II

現代日本文化研究

東北大学文学部 2001 年度

田中 重人 (講師)

【目的】

- 論文の探しかた
- 論文の読みかた
- プレゼンテーション
- 現代日本文化の知識

【予定】

●イントロダクション (10/11)

●論文検索 (10/18)

●各論文の報告 (10/25～1/24)

1本につき4人で2週間

★論文は最初の1本だけ用意している：

松信 ひろみ、1995「二人キャリア夫婦における役割関係」
『家族社会学研究』7: 47–56。

2本目以降は受講者が選んだものから。

(計6本の予定)

【論文の読みかた】

★ロジック(結論—根拠)

★構造(目次)

★図表

★鍵概念(定義・用例、類義語)

【報告の準備】

★提示資料 (OHP またはパソコンなど)

- OHP シートは横に使う
- 文字は大きく (最低でも 20pt)
- 飾りのない文字 (ゴシックなど)
- 文章をすくなく、図を多く

★ハンドアウト (配布資料)

- OHP よりも詳しい情報を
- 論文として体裁を整えるのが望ましい
- 日付・授業名・報告者名・所属を書く

【プレゼンテーション】

- ★組み立てをよく考えて、練習する
- ★報告用原稿をつくるか、提示資料のコピーにメモを書いておく。
- ★時間を厳守すること

★画面の指示のしかた

(指示棒／Laser Pointer／シート上の操作)

★ 聴衆の反応を見ながら話すこと

★ 聴く側も報告者の顔を見て反応を返す